

鹿見島で出会う、
3つの世界遺産



鹿児島のおいしいもの、 あふれる魅力を紹介

3F

鹿児島
ブランドショップ
(工芸品展示・販売)



各種の工芸品を販売。鹿児島の名物や方言がモチーフになったシュールでかわいいTシャツなどを制作するアパレルブランド「カゴマニア」のグッズも。奥のギャラリーでは写真展などを開催。

幕末に薩摩藩で生まれたガラス細工、薩摩切子。これだけの種類を揃えるのは、東京ではこちらの店だけという。色とりどりの精巧なグラスは、飾るとすてきなインテリアに。

薩摩焼も豊富に取り揃える。薩摩焼の名窯「沈壽官窯(ちんじゅかんがま)」の「さしむかい」(23,100円)は黒茶家(くろじょか、焼酎の酒器)、コンロ、計量カップ、黒薩摩盃(2点)がセットになっている。

2F

レストラン
「遊食豚彩
いちにいさん」



ランチの「黒豚の野菜蒸しセット」(1,280円)。メイン料理は黒豚のしゃぶしゃぶ。2022年に「和牛オリンピック」といわれる全国和牛能力共進会で頂点に輝いた鹿児島黒牛のステーキもおすすめだ。

ランチの「黒豚しゃぶかつセット」(1,200円)。脂身の少ない赤身肉を使用している。黒豚どんかつも人気で、ロースかつ、ひれかつ、チーズかつなどもあり、豊富なメニューを揃える。

自宅へのお土産や贈り物向けの販売コーナーも。野菜とセットになった「六白黒豚しゃぶ肉盛り」(1,200円)、「自家製黒豚みそ」(380円)など、店の味を家庭でも楽しめる。

1F

さつまいもの館
(食品販売)
& 観光案内
コーナー



観光案内コーナーでは、鹿児島県の各市町村のパンフレットやイベント案内を設置。デスクでは旅行の相談にも応じている。Instagram (@kagoshima_yurakukan) でも旬の情報を発信。

芋焼酎は常時100種類以上を揃える。飲み口、度数、飲み方も様々で、最近はソーダ割にして飲むのが人気。向かいの棚では奄美大島の黒糖焼酎も販売。現地以外で置いてあるのは珍しいという。

鯉節、お茶、黒豚や鰻などの関連商品、さつま芋(期間限定)、銘菓などの食品も販売。さつま揚げは「にんじん天」「ごぼう天」「枝豆天」「チーズ丸天」「いわし棒天」など種類豊富で、1個から買える。

かごしま遊楽館

東京都千代田区有楽町 1-6-4 千代田ビル 1-3F 休 年末年始

(1F) さつまいもの館 TEL 03-3580-8821 10:00 ~ 19:00

観光案内コーナー TEL 03-3506-9174 10:00 ~ 18:00

(2F) TEL 03-3501-3123 11:30 ~ 21:30 (LO21:00) (3F) TEL 03-3506-9171 10:00 ~ 18:00

【アクセス】 地下鉄日比谷線日比谷駅 A4 出口からすぐ・JR 有楽町駅日比谷口から徒歩 2分

詳しい営業時間は
こちら



南の宝箱 鹿児島